

情報モラルちょっと授業

～10分で指導する情報モラル～

対象学年	高等学校 1年生
------	----------

領域	教科指導（英語表現Ⅰ）
指導内容	ライティングエッセイのためのブレインストーミング

<u>情報モラル指導モデルカリキュラム</u>			
分野	情報社会の倫理		
コード	A5-1	指導事項	情報社会において、責任ある態度をとり、義務を果たす
指導のねらい	携帯電話使用について、マナーを知っているか。マナーを守れているか。 また、なぜそのマナーが必要なのかを、情報交換するなかで再認識させる。		

科目・活動との関連	情報モラルに関する一つのテーマについて、日ごろの行動を振り返り、新たに発見したことあるいは自分の意見をまとめ述べさせる言語活動。
利用教材（サイト）	学校と家庭でともに進める情報モラル教育 愛知県義務教育問題研究協議会 http://www.pref.aichi.jp/kyoiku/gimukyoku/singikai/gimukyougikai/2.htm 「携帯電話の使用マナー」

	学習の過程	指導法	指導の留意点
導入 (3分)	ペア（あるいは3～4人のグループ）にする。 ワークシート1配布。	ワークシート1に示された場面で想定される問題点について書かせる。それをペアで交換し、さらにアイデアを膨らませる。	生徒の学習段階、語彙 また内容によって日本語、英語で話させるかは選択。
展開 (5分)	ペア（グループ）の代表者に話した内容を手短かに聞く。 その後、ワークシート2を配布。	話し合いの内容を、各グループ一人に（ペアでなら数人を選んで）クラス全体で発表させる。 ワークシート2を配布し、自分たちの考えたものと比較させ、日ごろの携帯電話マナーについて振り替えさせる。	書くために必要な情報はメモをとるよう に指示。
まとめ (2分)	宿題の指示	ライティングエッセイの書き方の指示。書く内容、構成、語数および提出期限。評価基準の提示。	情報モラルに結び付く内容、結論を提示するよう注意。

利用教材

ワークシート1（英文）、ワークシート2（和文）

指導のポイント

自分で考えることだけでなく、クラスの仲間とそして社会で望まれる考え方などを合わせて考えることで、再度普段の自分の行動を振り返って、より客観性のある文章を書けるように促す。

< Work Sheet 1 > Class No. Name

Q1. What do you think you should turn off your mobile phones or is it all right just to set them to vibrate mode in the following areas or occasions? Or do you think you can use text messages in such a following situation? Give them the reasons.

a. At school : Between classes, lunch time, at club house

⇒Possible reasons for troubles

b. At hospitals or during the flight

⇒Possible reasons for troubles

c. At movie theaters, museums

⇒Possible reasons for troubles

d. While you are on a bike

⇒Possible reasons for troubles

e. While you are walking

⇒Possible reasons for troubles

f. In public places such as restaurants or trains or buses

⇒Possible reasons for troubles

g. While you are eating with someone or meeting with others

⇒Possible reasons for troubles

h. At midnight

⇒Possible reasons for troubles

i. Confirm your participation or request by text message

⇒Possible reasons for troubles

<ワークシート2>

☆ 次のような時間や場所、あるいは方法で携帯電話を使うことで考えられる問題点。

- ・ 学校

- ・ 病院や飛行機の中

- ・ 劇場、映画館、美術館

- ・ 自転車に乗っているとき、歩いているとき

- ・ レストランや公共の乗り物の中

- ・ 満員電車の車内や優先席付近

- ・ 食事の時間や夜間

- ・ 公的な欠席連絡、依頼事をメールでする。

() 年 () 組 () 番 氏名 ()

☆ 次のような時間や場所、あるいは方法で携帯電話を使うことで考えられる問題点。

・ 学校 (追加)

学校は基本的には、携帯電話を必要としない場所です。また、集団行動を学ぶ場でもあります。学校内で携帯電話を使用することは、本来の学校で学ぶべきことが阻害される大きな原因となります。携帯電話を使用しないということが学校における携帯電話のマナーです。

・ 病院や飛行機の中

人の命に関わるので、電源を切る。

携帯電話は使っていないなくても定期的に電波を発信しているので、その電波により精密機器が誤作動する可能性がある。病院や飛行機の精密機器が誤作動すると人の命に関わることになる。

・ 劇場、映画館、美術館

まわりの迷惑になるので、電源を切る。

外に出ないと電話にはでられないので電源を切っておく方がよい。そうすると「電源が入っていないか電波が届かないところにいます」とアナウンスがされるから、相手も今は電話できないと分かる。マナーモードの振動音でも近くの人には迷惑な音になる。

・ 自転車に乗っているとき、歩いているとき

電源を切る。マナーモードでもよいが、使用するときは止まってからにする。

自転車に乗りながらの使用は道路交通法違反になる。たとえ歩行中の使用であろうと命に関わることになる場合がある。(ドライブモードがついている機種もある。)

・ レストランや公共の乗り物の中

うるさくて迷惑をかけるので、マナーモードにする。

人の迷惑にならないところに移動してから使用する。いったん切ってから後でかけ直すのもよい。かけたほうも相手が話しにくい場所にいると分かったなら「後でかけるね」と相手を気遣う。

・ 満員電車の車内や優先席付近

電源を切る。

心臓にペースメーカーを入れている人は近い距離から電波をあびるとペースメーカーが誤作動することがある。電車ではアナウンスされる場合もある。人によっては携帯電話を見ただけでとても不安になる人もいる。

・ 食事の時間や夜間

電源を切る。

食事の時間や夜間に、電話をかけたりメールを打ったりするのは、他人に迷惑をかけることになる。

・ 公的な欠席連絡、依頼事をメールでする。(追加)

公的な(部活動の試合なども含む)欠席連絡や、相手に頼みごとをするときにメールでするのは、大変失礼なこと。仕方なく欠席する場合、誠意をもって少なくとも相手に直接電話をする。

また依頼事は、できるだけメールや電話ではなく直接相手の顔を見て頼むこと。

コミュニケーションの方法には、①直接相手と対面する ②電話をする ③メールを送信する、などがあるが、公共性が高くなればなるほど、①の方法が相手に誠意を見せることになる。②、③は相手の顔と自分の顔が見えないため、誤解を生む場合がある。コミュニケーションの特性をよく見極めたうえで、コミュニケーションの方法を選ぶことが必要。